

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 （第4回選定）の選定報告について

内閣官房及び農林水産省は、全国844地区の応募の中から、31地区の農山漁村地域の活性化に取り組んでいる優良事例を「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定しています。

今回、沖縄総合事務局管内からは「糸満市観光まちづくり協議会」が選定され、去る11月22日（水）に首相官邸において、選定証授与式・交流会が行われました。

これを受け、当該団体による「ディスカバー農山漁村の宝」の選定報告を12月22日（金）に行いますのでお知らせします。

1. 事業の趣旨

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信することとしています。

2. 選定団体

糸満市観光まちづくり協議会（所在地：糸満市 代表者：^{うえはら} ^{あきら} 上原 昭 氏（糸満市長））

3. 選定団体の概要

別紙「糸満市観光まちづくり協議会の概要」を御参照願います。

4. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の選定報告

日時：平成29年12月22日（金） 9：30～10：00

場所：沖縄総合事務局特別会議室

（那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館6階）

出席予定者：糸満市観光まちづくり協議会（上原昭代表ほか）

5. 取材について

選定報告は、報道関係者の方々による取材が可能です。記者席を設けますので、事前に御連絡いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局農林水産部

農村振興課農村活性化推進室

担当者：神里、佐久川、甲斐

TEL：098-866-1652、FAX：098-860-1194



農泊

インバウンド

子ども
(教育・体験)

いとまんし
沖縄県 糸満市



いとまんし 糸満市観光まちづくり協議会

祈りのまちの民泊で、つながる絆 太くなが〜く

糸満市の活発な取組が地方TVで放映



沖縄の伝統文化を学ぶ農泊



収穫の喜びを味わうサマースクール



概要

- 閑散期解消のため、サマースクールの受入を実施。
- インバウンドや大人向け体験メニューの開発。
- 簡易宿所営業許可取得の指導や英語講習会など、受入農家をレベルアップ。
- 地元テレビ放送等において、農家も参加したPR活動を実施。

成果

- 修学旅行の受入者数は、約500人から約3,400人に増加(H24-H28)。
- 年間を通しての活動の場の広がりにより農家の所得向上に貢献。
- メールやSNSを活用した情報発信等の広報活動が活発化。

平成29年度～ 平成30年度	糸満市観光まちづくり協議会 (沖縄県糸満市)	・農泊推進対策	(全体のポイント) 「食」の専門家と漁業関係者が中心となって糸満らしい地域資源の活用に向けて、①農泊の推進、②農業と漁業と観光との連携の促進、③農・漁の体験メニューの構築を図る。	糸満市観光 まちづくり 協議会
-------------------	---------------------------	---------	--	-----------------------

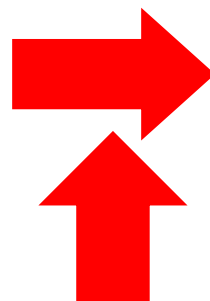
地区の現状と課題

現状

・農泊家庭数は70世帯あり、年間3,400人程度の修学旅行生を受け入れているが、修学旅行の繁忙期以外は農泊の受入れがなく農家の収入が安定していない状況である。

課題

・年間を通して農泊受入れが充実し農家の所得向上と生きがいづくりを目標にインバウンド・大人の農泊受入れを模索している。
・地元密着型のローカルな旅を観光客は求めているが「食」、「宿泊施設」、「体験メニュー」の連携や取組が不足している。



地区の将来像

・糸満市の「食」の魅力を活かした、糸満市でしか体験できない質の高いおもてなしの糸満ブランドを構築するため、地元の野菜ソムリエと連携し、「農」と「食」の体験メニューを確立する。
・行政、市民、民間事業者、関係団体が連携し、他の地域とは異なる特色を出した島野菜の収穫体験や水産資源を活用した「糸満ブランド農泊」を推進し、地域の活性化を図る。
・「大人の農泊・インバウンド向け農泊」を充実させ、平成31年度の自立に向けて組織体制の強化を図る。

交付金の活用

事業の実施体制(役割)

糸満市観光まちづくり協議会

事務局

糸満市観光協会 民泊部会
(民泊活動)

糸満市 商工観光課
(行政サポート)

JAおきなわ
(ファーマーズマーケット)
(農産物販売)

糸満フィッシュリーナ(糸満漁港)
(漁業体験)

地域雇用創出推進協議会
(県産品を活用した商品開発)

取組内容

①農泊推進対策 (H29年～H30年)

○平成29年度

・農泊の推進(国内・海外の観光客の受入環境の整備)、新規民泊家庭の開拓
・農業と漁業と観光の連携、モニターツアーの実施
・食と糸満ブランド化の推進、農・漁の体験メニューの構築、プロモーション活動準備

○平成30年度

・農泊の推進(国内・海外の観光客の受入環境の整備)、インバウンド対策勉強会
・農業と漁業と観光の連携促進、モニターツアーの実施

○平成31年度

・予約サイトの運営充実、宿泊事業者との販売連携、体験メニューの充実と旅行商品としての販売、着地型旅行商品パッケージと販売の充実

